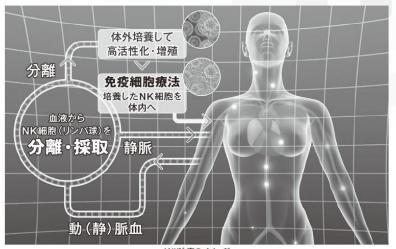
ATLに対する

ANK免疫細胞療法の論文が海外誌に掲載される



症状の進退を繰り返す「く

たが。

ANK治療のイメージ

の方が多いので他の疾病等 それ以外はどうしても高齢

培養が間に合わなかったり

血液5~8%を体外循環させNK細胞

を含むリンパ球を分離採取する「リ ンパ球分離採取機」

なっても本人負担分が自由

診療より高くなってしまい

ん細胞が培養によって増え **-逆に培養器に混入したが**

1回で5千万円、附帯費用

たり、症状が進行し過ぎて

で早くお亡くなりになられ

の回収が大変で、そこに利 申請費用を徹底して抑える になってしまいます。承認 益を乗せるとこういう値段 がおよそ1億円です。 上夫をしないと保険適用に 原価以上に承認申請費用

が13カ月、進行が遅いタイ 早いタイプ)の余命中央値 て論文投稿されたものです。 プも結局は急性転化し、急 レッシブATL(特に進行が インによると最近ではアグ 日本血液学会のガイドラ ATLというのは治療が

8月14日付で掲載されまし

文誌MDPI(査読あり) に

告する論文(※)がスイス 免疫細胞療法の著効例を報 してから体内に戻すANK 外に採りだして培養し、増強

患者体内のNK細胞を体

研究者の方々が症例報告とし

、ーゼルにある電子版学術論

うになりました。 も消え、ATLに伴う高血圧 宅で日常生活を送られるよ や他の異常値も正常範囲に 着き、さまざまな皮膚症状 人ったので退院され、ご自

(第652号)

のある論文が掲載されまし

があるとしています。

療は行わないコンセンサス

ANK療法に関する査読

お話をうかがいました。 株式会社代表藤井真則氏に 創業されたリンパ球バンク た。この治療の普及を目的に

性転化後の平均余命中央値

1年、急性転化前には治

細胞培養を受託された医師お

られたのでしょうか

―どのような治療効果がみ

実際に治療された医師と

一人、ご協力を頂いた大学の

ました。急性転化後は他の を特に症状もなく過ごされ 亡くなりになられるまで、治 治療は受けられていません。 療終了後から数えて5年以上 ATLではない疾病でお

成功例ありとしていますが は今回の論文で他に4例の しゃると発表されていまし も長期生存の方々がいらっ 一昨年の国際学会では他に 長期生存4名様について ビデンスになりやすいわけ タを取りやすく明確なエ に治療効果を判定するデー ます。固形がんよりはるか だけで随時確定診断ができ 胞がいますので、血液検査 がんと違い血液中にがん細 であることを示しやすいと またANK療法単独の効果 いため社会的要請も強く、 いうこともあります。固形

保険適用になるためには

免疫細胞療法の薬価は点滴 想像できないほど巨額にな ころか臨床現場の医師でも り、その費用は一般の方ど 承認申請を行う必要があ 大企業と提携して承認申請 をかけても

らうことです。

た にし米国で承認を取得した 私の使命は資金力のある

10.3390/reports1020013

Successful Amplified-Natural-Killer Cell (ANK) Therapy Administered to a Patient with Smoldering Adult T-Cell Leukemia in Acute Crisis

者さんの病状が急変し、 27%に達していました。 めるATL細胞の比率) すぶり型」と診断された患 異常細胞率(リンパ球に占 性期に移行されました。腫 徹底した抗がん剤投与を受

瘍マーカーが低下して落ち ANK療法を受けられ腫

されたのですか。 ぜATLの症例が論文発表 がんも治療対象ですが、な ANK療法は他の種類の

ますが。 の単価はおよそ半額になり 滴が基本で点滴1回当たり ます。ATLの場合は半量点 クールとしておよそ400 療で実施され、固形がんの 標準量治療12回の点滴を1 万円を超える費用がかかり

標準治療が確立していな

師はおっしゃっています。 が望ましい」と治療された医

り段階で治療を受けられるの 「急性期に入る前のくすぶ

に終わられる方もいらっ かったなどで、残念な結果 療法を集中的に実施できな の問題で高熱がでるANK を受けられたために体力等 けられた後からANK療法

しゃいます。

認しています

あるのでしょうか 保険適用になる見通しは 未承認医療として自由診

わけですが、培養中にAT 除しないと治療に使えない では急激に増殖します。こ リンパ球を培養する環境下 化したものなので、一般に れを培養中にNK細胞が排 上細胞が消滅することを確 ATLはリンパ球ががん

